

5 / 28 (土) 10:00 ~ 10:45 清和台南小学校 参加者21名 発言者 のべ 5名
○…ご質問、ご意見 →…川西市教育委員会の説明

<地域の方>

○今、説明があった中で、新たな提案が2点あったかなと思います。

まず、1点目は、住民向けの説明会ですね。これは、議員の方の要望もあったとは思いますが、やはり統合に向けた説明会、住民の方々にやはりより一層理解していただくためにですね、教育委員会としては、ぜひ今後とも継続して説明会をやっていきたいというのが、1つかなと。

もう1点目は、人口が増えているんじゃないかなと。清和台も含めてですね、グリーンハイツも。その中で、教育委員会が統合に向けたジャッジされたその数値よりも、今の段階で、人口が増えている。なおかつ、移動者も増えている、というところを精査していきたいと。それでちょっと時間をいただきたいと。仮に精査した結果、単学級が、31年度のあたりで発生しなければ、自動的に延長もありうると、というような理解でいいんですか。

→まず、1点目、説明会はどのような形になるかわかりませんが、住民の方に十分に説明を繰り返していく、住民の方の意見を聞いていくということと考えております。2点目、現時点では、はっきりとどういうふうにと申し上げることができませんけれども、人口の、特に児童数の数については、今後どのような方向に向いているのか、5年後、10年後を見据えた時にどうなっていくのかということ十分に精査したうえで、結論づけていきたいということと考えております。

○2点目のところが大変大切な部分でね、やはり、2回の説明会の中でもですね、単学級が発生する、よって統合を考えています。しかしながら精査した結果、単学級が発生しなければね、単学級が発生する時期にあわせた統合を検討していくというような説明じゃないのでしょうか。

→そのあたりについても、しっかりともう一度見ていくということでございますので、単学級が発生しなければ、すなわち時期が延びるとかそういうことではなくて、もっと、きちっとした形で、統合という問題については非常に大きい問題ですので、もう少しお時間をいただきたいということでございます。基本的には今まで、単学級が発生した時と比べてきましたので、そのあたりについても再度、検討を加えていきたいと思っております。

→補足しますと、答申をいただいてスタートした時に単学級ができるということで平成26年度から推移を見てきたんですけれども、実質その時に、こういう単学級ができるという推計はあったんですけれども、推移っていうのは一定動く、そういうことは十分知っていたうえなんですけど、27年度、28年度と当然その推計を調べてきたわけです。再度、この状況の学級数と児童数の見込みの推計を、きちっと精査して進めていく必要があるということからすると、課題については、現段階で28年度の児童数について見ますと、例えば29年の今の5歳児が今の段階で46人くらいいます。30年度1年生になる子どもが

実質43人くらいいます。現3歳児が53人。今の段階で全体人口は少しずつ減っているんですが、清和台小学校区の子どもさんで3歳、4歳、5歳は少しずつ増えている。それは、グリーンハイツでも同じような状況が少し見えてきた。1つは親元近距離制度の影響が少しあるかもしれません。それで、親御さんのところに、若い子どもさんが帰ってこられてというのも、実質は市内全部で120くらいの規模で今、増えています。グリーンハイツ、清和台でも10軒くらいの方がそれぞれ入ってきている。それ以外にですね、ここ1年、2年のことでしょうけれども、若い親御さんが、一軒家、けっこう大きな一戸建てのところにあった家が、例えば3つくらいに分かれて住んでおられる。そういう風な施設が清和台小学校区、石道地区に限らず西1丁目あのへんずっと、空いているところに新しくおうちを建てられて、親御さんの近くの家に入られて、少しずつ学齢の1歳、2歳、3歳と学年を追うごとに3人ずつ、4人ずつ増えているという形で、グリーンハイツの方も、そういう傾向が見えてきた。清小と清南小においても、そういう状況が今、見えてきた。ということで、少し具体的な話をしましたけれど、両方の地域において、児童数、学級数そういう状況の推計の見直しを見直す作業を少ししないといけないかな、方針は変わりませんが、今回は、もう少し時間をいただいて、今回は決定できませんけれども、もう少し分析をして、そして課題を整理して、次の説明の時には、きちっとお話をしたいと思っております。

<地域の方>

○見直すという時期については、基本方針はかわらないけれども見直すかもしれないということではないんですよね。それと2点ほどあるのでお願いしたいんですけれども、もし統合した場合、通学距離が長くなるということですね、先ほど、バス通学を認めるというような発言があったと思うんですけれども、バスの金額と支援をお考えになっているのか、バス通学だけなのか、その辺をお願いしたいです。それと今行政の方では、川西市の小学校に110台の防犯カメラをつけると具体的にになっていまして、議会で発言されていると思うんですけれども、これでいくと今回の統合に向かった防犯カメラの設置ということとは別なんですか。含まれているのかそのへんのことをお答えいただきたい。

→バス通学の件については、これまでの方針で、何らかの負担軽減策、具体的には補助金みたいなものですね、実際にかかる通学定期、あるいは何らかの形で補助という形で考えておりましたが、まず市議会を通して、予算化をしないことには決定事項ではございませんので、申し上げにくいということをご理解ください。教育委員会としては、方向性としては、何らかの補助を考えたいなど。そのためには、予算要求を必要となった時にしようと思っております。

それから、防犯カメラの件です。これは、統合するしないにやっぱり影響します。統合してなくなるんだったら、そこにカメラを設置しないとか、そういうようなこともあるんじゃないかと。考え方ですよ。でもそれでは具合悪いです。まだ統合の過程について、お時間をいただいて、検証したいということもありますので、防犯カメラの所管の課と協議し

て、今の所は、両方の学校の校区、それぞれに10台ずつ、設置できるように要望しております。ですので、今回のこの統合によって悪い影響は出ないと思っております。何の関係もないのかと言うと、当然、通学路の変更であるとか、カメラの設置場所として適切なのかどうかとか、無駄があったらいけませんので、そのあたりについて協議はきちんとしております。地域のみなさんとも、担当課は協議していますし、うちは、学校の通学路は、この道ですよということで説明をさせていただいています。話し合いは引き続き、ずっと続いています。

それから、最初の説明で伸びることもあるのかということで、ご質問あったと思います。これも先ほどの市議会の関連がありまして、大きな事柄として進んできましたので、必要な時期に必要な手順を踏んで、それから決定みたいなことをお伝えできるかと思っております。

まだ今の段階で、審議会を経ておりませんので、明確な回答ができてなくて申し訳ないんですけども、今、本日の時点では、この検討をさらに進めるために、お時間をいただきたいということと、さらにこのことについて、きちっとみなさんと対話する時間をほしいと考えています。

<地域の方>

○2回目までは、31年度統合ということでお話を聞かせてもらったと思うんですが、3回目にして教育委員会のほうでは白紙には戻ってないと思うんですけども。こちらで聞いていたら、どなたが質問されてもですね、精査させてほしいとか、検討させてほしいとか、人数の推移は毎年変わるものだしきっちりしたものは出ないと思うんですけど、でも、統計的に出にくいのかもかもしれない。聞いてても、どっちをどういう風に考えていいのかわからないような感じなんですよ、お答えが。それとこの雰囲気を見ていますと、清小の方の説明会と南小校区の説明会では、保護者の方の温度差がすごいあって、清小の方は、自分たちの子どもたちが、こちらの方に通うから、いっぱい心配されていることがあるんですよ。でも南小の方はもともとの所に通学するから、子ども同士の違和感とか、保護者のなにかという問題点。子どもの安全面を考えたら、南小の方は、そこは考え方がちょっと違うと思うんです。お互い保護者同士がこういうことを思っているんだという統一性というのかな、一緒に説明会をされるということはお考えではないのでしょうか。

→今の提案についてなんですが、こういう大規模集会でやる方法と中規模、小規模の方法と2パターンあります。これからなんですけれども、両方一緒にということも当然考えさせていただいています。やり方としてそれぞれのご意見が出来るだけ出しやすい環境を整えて中規模がいいのか、大規模がいいのか、これも合わせて引き続き研究させていただきたい。実施しないということではありません。実施も含めてちゃんと考えさせてもらいたいと思います。

→推計によって、それを判断材料にするのは難しいというのがあります。実際からして、今の見通しの中で、もう一度、確かに先ほど私がお話ししたように、現実こういう小学校

区の中で、南小校区、清小校区、今の5歳、4歳、3歳、ここ4、5年先をみても既に3歳でも35人以上の状況というのが見えている。それから、27年度の時の推計と、26年度の推計は違います。

そういう状況の中で、今の前の新名神の状況がどうかということも含めて、子どもさんの数が戻ってきている状況がここ何年かあるのであれば、もう一度、児童数と学級数については、見直しの作業をさせていただきたい。現段階では、今の方向で行こうと思っているんですけども、今日、決定することはできませんので、次の時に、時期が来た時には、明確に説明会をさせていただきたいと思っております。

<地域の方>

○先ほどから、いろいろ説明されていますが、人口推移をこれからまた調査されていくと思うんですね。その結果に基づいて、31年度で統合を従来通りの方針としてやっていくのか。それとも変化があれば31年度じゃなくて、32年、33年もありえる、そうした場合において、教育委員会としては、校区審議会へ差し戻しされて、校区審議会の方で検討されたものを最終的に教育委員会で決定されて、審議会の方へ提出される諮問されるという運びでいいですか。

→校区審議会との関係です。校区審議会は26年度からこの統合に関係する内容で審議していただいています、27年度中にお答えとして答申を市に出しました。このときの資料が26年度の人口推計の統計でありまして、校区審議会でも出された答申そのものはその条件のもとでわれわれにいただいたものです。改めてもう一度一から校区審議会を開いて、統合について説明があるのかどうかということも含めて、ことあたりはお時間いただきたい。

→さっき質問で言われていたように、こういう推計があって、もし、数字が伸びる、31年の時がですけど、当然、今の現段階では、方針を変えてないわけですから、ここを踏まえて、もしかしたら可能性があるかもしれませんがね、現段階ではこの方針で進めていく。校区審議会もありますけれど、それはこれから先、そういうことが起きるかもしれませんが、現段階ではこの方針で進めておりますので、実際に精査させていただいて、次の時には、きちっとご報告させていただきたいと。そう遠くならないうちに報告をさせていただきたいと思っています。

<地域の方>

○はじめて参加させていただいて、いろいろお聞きしていたんですけども、短期に見て、今の推移に人口のブレがあるのでもう少し精査するというお話がありましたけれど、しかし、長期に見ると決定は事実だと思いますし、そのあたりを考えていただきたいのですが、具体的に平成31年に統合するとしたときに、いつまでくらいに決めないといけないのか。

→今の段階では31年度にむけて統合していく。ただしですね、現段階では遅れる可能性

は出てきているかもしれません。次の説明会的时候にはお話をさせていただきたいと思っております。先ほどおっしゃったように子どもたちの数、一方では増えていますし、全体としては減ったとしてもね、5年先、6年先までは2学級ずつ、両方から単学級が出て本当に20人、30人のクラスが続くような状況もある場合もあるかもしれません。今の段階では予想がたちません。それについては少しお時間をいただいて、現段階においては今の方針ですすめていますけれども、このことも含めて検討していきたいと思ひます。

— 終了 —